

# 神石高原町の医療を考える集い開催

1月21日(金)、三和の森リゾート&カンファレンスセンターで、「神石高原町の医療を考える集い」が開催され、議会や病院関係者、住民ら約190名が参加されました。

この集いは、神石高原町議会が主催したもので、本町の医療を取り巻く厳しい状況を、議会・行政・住民・医療提供者が共有し合い、これからの医療について真剣に考えようと企画されたものです。

「神石高原町立病院を中核とした地域医療のあり方について」をテーマに、自治医科大学地域医療学センター長の

梶井英治教授の基調講演、神石高原町立病院院長の原田亘氏の厳しい医療現場の現状報告を受け、自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門助教の神田健史氏からコメントを頂き、社会医療法人社団陽正会理事長の寺岡暉氏が指定管理者としての想いを話されました。

人や地域の元気が地域力を高め、更に住民と医療機関が信頼し合える関係となることが地域医療を守ることに繋がると確認し合えた集いとなりました。



原田院長



寺岡理事長

# 神石高原 かがやきネット

引き込み工事をおこなっています

## ケーブルテレビに関連する詐欺にご注意を！

ケーブルテレビ局や公的機関の職員、調査員などの名をかたり、不正請求を行うなどの事件が起こる可能性があります。

役場や(株)ケーブル・ジョイ、工事請負業者の職員が、訪問して金額を請求することはありませので、金額を請求された場合などは、役場や警察署などに連絡してください。



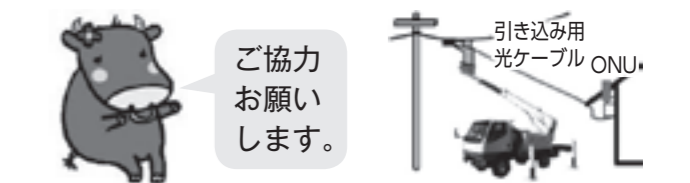
**工事請負業者 (株)NTT 西日本・中国**  
(株)NTT 西日本・ホームテクノ中国、(株)ケー・エム・エンジニアリング、(株)メディアトライ、(株)ソルコム、(株)プレテック、(株)子迫電工、(株)中電工、(株)プロテック、東原電信電話、(有)三上電機、(株)メディアアテック中心、清和電設(有)、(株)アイデン、(有)貝川電設、(有)桑田工業

## 光ケーブル引き込み工事について

光ケーブルの引き込み工事に際しては、事前にご連絡いたします。

また、工事が完了した後は、引き込み工事の漏れを防ぐため「引込工事完了確認書」へ署名していただきますよう、ご協力をお願いします。

引き続き、私有地に設置させていただいた電柱に係る契約にお伺いしますのでよろしくお願い申し上げます。



ご協力  
お願いします。

引き込み用  
光ケーブル ONU

お問い合わせ先 情報プロジェクトチーム ☎0847-89-3352(役場本庁)  
株式会社ケーブル・ジョイ ☎0847-45-0557(府中)  
同上 神石高原事務所 ☎0847-89-0012(油木)

ホームページ <http://www.ccjnet.ne.jp/~kagayaki/>

# 平成23年神石高原町 消防団出初式

火災のない住みよい町をめざして

1月23日(日)油木体育館で、平成23年神石高原町消防団出初式が挙行されました。各方面隊から消防団員が集結し、多数のご来賓のご臨席のもと盛大に開催されました。

式では、37名の新入団員並びに役員任命辞令交付や広島県知事表彰等の各種表彰状授与が行われました。新入団員の辞令交付では、油木方面隊の川上恭平団員から力強い宣誓がありました。

本年は役員改選が行われ、橋本新団長のもと新たな役員体制により消防団活動を行うこととなりました。団長から「町民の安心・安全は自分たちが守る。そのために組織再編や団員確保に積極的に取り組み、神石高原町消防団の発展をめざそう」と訓示があり、火災のない1年とするよう決意を新たにしました。



## 新団長の抱負



この度、内藤前団長の後任として、消防団長の命を受けた橋本輝久です。

神石高原町消防団は、団員の減少等による地域格差、サラリーマン団員の増加等による平日昼間の出動体制など、諸対策を検討する時期にきています。神石高原町消防団としては、組織の再編や出動条件の見直しなどを検討し、消防団機能の充実を図っていくこととしています。

本年は、広島県消防ポンプ操法競技大会(ポンプ車の部)が開催され、神石高原町消防団を代表して油木方面隊が出場します。県大会出場にあたっては、神石高原町消防団一丸となって取り組んでまいります。

地域住民の期待に応えるよう予防消防に徹し、火災のない明るい町をめざす所存であり、引き続き皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

# 中高一貫教育

## 検討協議会開催 第4回

1月25日(金)に第4回の中高一貫教育検討協議会が開催されました。前回に引き続き、中高一貫教育の目的やその可能性・実現性について協議しました。中高一貫教育の主たる目的は、

- ① 町内の子どもは町内で育てる
- ② 就学前から一貫した教育で「未来を拓く子ども」の育成
- ③ 広島県立油木高等学校の存続

にあります。議論の中では、より良い学校環境、「油木高校の存続」の町民の気運、教科や行事の連携などあらゆる観点から検討されました。次回は2月24日(木)に開催し、教育委員会への答申内容を協議します。

